

開かれた議会推進のためのコミュニケーション誌



大塚小学校(吾妻町)



八斗木小学校(国見町)

## 主な内容

P2 定例会の概要

P5 賛否表

P6 意見書

P8 討論

P9 議決結果

P10 常任委員会報告

P13 一般質問

P18 市民の声／長崎県市議会議長会研修

P19 議会用語解説・返信用ハガキ

P20 会期日程(案)／編集後記

# 第3回定例会の概要について

平成25年第3回雲仙市議会定例会は、8月29日～9月27日の日程で開催され、平成24年度一般会計及び特別会計の決算認定、平成25年度一般会計や国保特別会計などの補正予算案などが審議されました。

主な内容について紹介します。

## 平成25年度一般会計補正予算（第4号）

### ◆保育士等処遇改善臨時特例事業（新規）

事業目的：県「安心こども基金」の財源を活用し、保育士の処遇改善に取り組む民間保育所へ資金の交付を行うことにより、保育士の確保を進める。

今回補正額：37,466千円



### ◆農業経営体育成支援事業

事業目的：意欲ある担い手の育成・確保を行うため、中心経営体等が経営規模の拡大等に必要な農業用機械等を導入する場合に支援を行う。

事業主体：人・農地プランに位置づけられた中心経営体等

事業(補正)の内容：金融機関からの融資を活用して農業用機械等を導入する場合に最大で3/10まで助成する。

今回補正額：25,905千円

(配分地区)	(国庫補助金)
瑞穂	10,596,000円 (7件)
愛野	2,253,000円 (3件)
千々石	10,056,000円 (8件)
小浜	3,000,000円 (1件)



## ◆土地改良施設耐震対策事業

事業目的：大地震が発生しても橋脚が倒壊しないよう補強工事を行うとともに、橋桁の落下防止の対策を行う。

事業費

(単位：千円)

補正前予算額	今回補正額	補正後予算額
24,341	29,294	53,635

事業(補正)の内容

### 橋脚補強工 6橋

吾妻 …… 山田川大橋、鼻繰大橋、黒木谷橋  
小浜 …… 山畑大橋  
南串山 …… 加例川大橋、内原大橋

### 落橋防止工 3橋

国見 …… 金山橋、宮田橋、西田大橋



## ◆繰上償還元金

事業目的：民間金融機関から過去に借り入れた市の地方債（借金）を繰り上げて償還（返済）し、後年度の負担を軽くする。

事業(補正)の内容：地方債元金繰上償還元金 5億7,255万2千円

※内訳 銀行より14件の借入の分

# 平成24年度一般会計 及び 特別会計決算概要

一般会計及び特別会計の決算総額は、歳入決算額401億5,102万4,788円に対し、歳出決算額は386億9,959万5,227円で、歳入歳出差引額の14億5,142万9,561円の黒字決算となっている。

## 各会計の決算内訳

(単位：円、%)

会計別	歳入		歳出		差引額	
	決算額	構成比	決算額	構成比		
一般会計	29,191,333,590	72.7	27,937,301,548	72.2	1,254,032,042	
特別会計	国民健康保険	7,720,584,898	19.2	7,560,508,119	19.5	160,076,779
	後期高齢者医療	465,202,643	1.2	464,217,198	1.2	985,445
	簡易水道事業	908,697,629	2.3	890,192,854	2.3	18,504,775
	下水道事業	1,198,518,319	3.0	1,184,296,942	3.1	14,221,377
	と畜場	492,932,862	1.2	492,932,862	1.3	0
	国民宿舎事業	162,225,788	0.4	158,699,218	0.4	3,526,570
	温泉浴場事業	11,529,059	0.0	11,446,486	0.0	82,573
	小計	10,959,691,198	27.3	10,762,293,679	27.8	197,397,519
合計	40,151,024,788	100.0	38,699,595,227	100.0	1,451,429,561	

## 本会議での審査状況

一般会計、特別会計の国民健康保険及び後期高齢者医療については、採決の結果、賛成多数で認定し、その他の特別会計は全会一致で認定となりました。



# 平成24年度の主な施策を紹介します

## ○福祉医療費支給事業

心身障害者、乳幼児、母子家庭、父子家庭、寡婦に対し医療費の一部を支給し、福祉の増進を図った。

- ・心身障害者分……97,633千円
- ・乳幼児等対象分……65,832千円



## ○中山間地域等直接支払制度事業……79,474千円

中山間地域における耕作放棄地の発生を防止し、将来にわたって持続的な農業生産活動を可能とすることにより、集落の多面的機能の増進を図った。



## 賛 否 表

	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
	結 果	表 決 数	林田哲幸	坂本弘樹	酒井恭二	平野利和	浦川康二	大久保信一	深堀善彰	前田善哲	上田篤	町田康則	松尾文昭	前川治	大久保正美	小畑吉時	元村康一	柴田安宣	小田孝明	岩下大勝	福田大東	町田誠	岩永基和	中村一勲	中村明	石田徳春	森山繁一
平成24年度雲仙市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	23:2	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度雲仙市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	23:2	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度雲仙市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	23:2	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
諫早湾干拓事業に係る潮受堤防排水門の開門準備に強く抗議し、即刻中止を求める意見書について	可決	22:3	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

○は賛成 ●は反対

# 意見書を国へ送付しました

今定例会では、次の5つの意見書についてすべて可決され、国の関係省庁へ送付しました。



## 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書について

自然災害などの脅威から国民の生命財産を守るための森林・林業・山村対策の抜本的な強化をはかることに加え、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を強く求める。

### 【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、  
農林水産大臣、環境大臣、経済産業大臣

## ホテル・旅館等建築物の耐震化の促進に関する意見書

国は、温泉所在都市に対するホテル・旅館等の建築物の耐震化を迅速かつ円滑に推進するため、必要な財政支援措置の充実を図るとともに、「建築物の耐震改修の促進に関する法律の一部を改正する法律」の施行に当たっては、地方公共団体や当該建築物の所有者の実情等を十分踏まえ、必要な財政支援措置が確立されるまでは施行期限を延長することなど、特段の配慮がなされるよう要望する。

### 【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣、観光庁長官

## 合併算定替終了後の新たな財政支援措置を求める意見書について

合併市町が今後も一体となって住民サービスを維持し、将来のまちづくりが力強く推進できるよう、合併団体であるが故に削減できない財政需要や新たな財政需要に対応したきめ細かい補正等の創設を行うことにより、合併算定替の終了によって捻出される財源の相当額を合併市町村に還元すること。

### 【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、  
内閣官房長官

## 地方税財源の充実確保を求める意見書

地方財政は、社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続いている。

こうした中、基礎自治体である市が、住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、地方税財源の充実確保が不可欠であるため、地方交付税の増額による一般財源総額及び地方税源を充実確保するよう求める。

### 【提出先】

内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、内閣官房長官、内閣府特命担当大臣

## 諫早湾干拓事業に係る潮受堤防排水門の開門準備に強く抗議し、 即刻中止を求める意見書について

国は地元の意思を無視し、開門に向けた事前対策工事を発注するなど開門ありきの姿勢を続けている。

開門調査は、本市にとって、市民の安心・安全を脅かし、干拓地の農業者、諫早湾岸の漁業者の安定経営を破壊する暴挙であり、到底容認できるものではない。

国が進める潮受堤防排水門の開門準備に強く抗議し、即刻中止するよう求める。

### 【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣、環境大臣、内閣官房長官

# 討 論

## ◆平成24年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

認 定

### 賛 成

### 反 対

●国民健康保険事業は、市の一般会計から独立の会計として運営しており、一般会計からの法定外繰入れは、公平性を欠く。社会保険、共済保険加入者が、市全体の約半分位であり、一般財源から繰入れとなると、市の税金を投入することになり好ましくないとの考えだ。大変厳しい財政運営となっており国民皆保険制度が破綻をすると全額医療費を支払わなければならない。この事を絶対に避けなければならない。以上の理由により賛成します。

【平野 利和 議員】

●反対の理由の第1は、平成24年度の国民健康保険税額は多くの加入者にとって支払いが困難な高さにあること。

世帯平均税額177,894円、被保険者平均税額84,725円となっている。

私が行ったアンケート調査でも回答者の8割が「高くて困る」と回答している。

第2は、国保税の引下げが必要だと思うが、それはされなかった。基金の取り崩しと一般会計からの法定外の繰り入れの両面から「払える国保税」にすることが求められている。

国民健康保険制度の危機の根本原因は、国庫負担率を大巾に引き下げたことにある。

【上田 篤 議員】

## ◆諫早湾干拓事業に係る潮受堤防排水門の開門準備に強く抗議し、即刻中止を求める意見書について

原案可決

### 賛 成

### 反 対

●国は開門に向けた事前対策工事で諫早市長田海岸の背後地既設堤防の保全対策工事と小江干拓地の代替水源対策ため池整備工事を県及び地元の理解を得ないまま、工事に着手しようとしたため、国の対応に強く抗議するとともに再び一方的に着手しないよう求めたのでありますが、今回再度事前工事に着手しようとしている。地元の意向を全く無視した国の行為は、極めて遺憾であり、意見書案に賛成します。

【浦川 康二 議員】

●知事は、我々開門を求める漁民の声を全く聞かない。福岡高裁判決は確定したもので、開門（調査）は国の責務だ。司法の判決を守ることは、国民の義務であり、県の首長である知事は当然のことだ。もし、開門調査で市民の生命・財産が脅かされる時は排水門を閉めれば良い。住民同士が対立をしている場合、知事は双方の間に立って利害関係を調整し、双方が生活できるようにするのが務めだ。話し合いによって解決する以外にない。

【石田 徳春 議員】

### 討論とは・・・

議会の会議において、表決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することを言います。

意見の異なる相手を自己の意見に同調させようと努めることに、その意義があります。



●8月28日の説明会の話はほぼ納得のいくものであった。問題は、こういう話を最後の最後に出してきて、漁民に対しても農民に対してもまともに対応しない国に一番の責任がある。開門期限まであと3カ月だが、最大限の努力をするべきだ。基本は農業も漁業も防災も成り立つ方策でやることだ。それこそ雲仙市の発展につながる。今の県知事の姿勢は憲法違反以外の何物でもない、という見解もある。これからでも態度をあらためるべきだ。

【上田 篤 議員】



# 平成25年第3回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
報告 第 3 号	平成24年度雲仙市決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	—
議案 第65号	島原地域広域市町村圏組合規約の変更について	原案可決
議案 第66号	長崎県病院企業団規約の変更について	原案可決
議案 第67号	雲仙市国見神代小路歴史文化公園の鍋島邸の管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第68号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決
議案 第69号	平成25年度雲仙市一般会計補正予算（第4号）案について	原案可決
議案 第70号	平成25年度雲仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）案について	原案可決
議案 第71号	平成25年度雲仙市下水道事業特別会計補正予算（第3号）案について	原案可決
議案 第72号	平成25年度雲仙市水道事業会計補正予算（第3号）案について	原案可決
議案 第73号	工事請負契約の変更について	原案可決
議案 第74号	内原・新山辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決
認定 第 1 号	平成24年度雲仙市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 2 号	平成24年度雲仙市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 3 号	平成24年度雲仙市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 4 号	平成24年度雲仙市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 5 号	平成24年度雲仙市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 6 号	平成24年度雲仙市と畜場特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 7 号	平成24年度雲仙市国民宿舎事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 8 号	平成24年度雲仙市温泉浴場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 9 号	平成24年度雲仙市水道事業会計決算認定について	認 定
諮問 第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決
諮問 第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決
諮問 第 3 号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決
陳情 第 1 号	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情について（ご依頼）	採 択
発議 第 8 号	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書について	原案可決
発議 第 9 号	ホテル・旅館等建築物の耐震化の促進に関する意見書について	原案可決
発議 第10号	合併算定替終了後の新たな財政支援措置を求める意見書について	原案可決
発議 第11号	地方税財源の充実確保を求める意見書について	原案可決
発議 第12号	諫早湾干拓事業に係る潮受堤防排水門の開門準備に強く抗議し、即刻中止を求める意見書について	原案可決

付託（審議）案件	審議結果
島原地域広域市町村圏組合規約の変更について	原案可決
平成24年度 一般会計歳入歳出決算認定について	認定
合併算定替終了後の新たな財政支援措置を求める意見書	決議
地方税財源の充実確保を求める意見書	決議

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決3件・認定1書2件を決議しました。主な案件の質疑内容は次のとおりです。

## 島原地域広域市町村圏組合規約の変更について

業務効率化や市の独自政策の展開等を図るための雲仙市電算システム構築に伴い、組合における共同処理事務を変更するため、組合規約の変更に関する関係市との協議について議会の議決を求められたもの。

## 平成24年度一般会計歳入歳出決算認定について

主なものとして、庁舎整備基金積立金、減債基金積立金、地方債の元金償還金、住民自治推進事業、人件費、島原ならびに県央地域広域市町村圏組合負担金、会議録作成事業など。

徴収業務について、次のとおり、意見を付すことを全会一致で決定。

平成24年度の決算において、市税の滞納額（収入未済額）は約6億5,931万円となっており、前年度より増加している。平成21年度に収納推進課を設置し、税務課・総合支所及び嘱託職員5人で徴収業務にあたるもの、依然として毎年滞納

# 総務

額が増加していることは理解できない。

税は市財政の運営にとって極めて重要である。納税者の納付意識を損ねないためにも、市税の徴収率の向上や滞納額の削減に向けて、次の項目について、要望する。

一、市税の徴収業務の実施体制の見直しを含め検証すること。

二、全庁的な徴収対策を研究し、職員や市民の税意識の向上に努めること。

三、債権や動産等の法的な滞納処分を有効に活用すること。

**質疑** 市税の収入未済額・不納欠損額が多額であり、税の公平性の観点からも徹底的に徴収すべきであるが、対策はどう考えるのか。

**答弁** 臨戸徴収に加え、差し押さえ等による債権回収を図るとともに、財産等が全く無く納税が見込めない滞納者については執行停止を行いたい。

**質疑** 軽自動車税の滞納について、税額も小額で徴収しやすく、



委員会の審査状況

差し押さえの対応が可能と思うが、取り組みは。

**答弁** 3年以上の長期滞納者については、実態調査を実施し、納付及び滞納指導等を行っている。

**意見** 議会定例会等の会議録を市民に広くお知らせし、身近で自由に関覧できるように各町の図書館・図書室に備えるようにとの意見があった。

## 合併算定替終了後の新たな財政支援措置を求める意見書について

交付税が減額され、大幅な財源不足を生じることが見込まれ

## 地方税財源の充実確保を求める意見書について

ることから、今後も住民サービスを維持し、将来のまちづくりが力強く推進できるように、合併算定替に替わる新たな財政支援措置を講じるよう、関係省庁へ意見書を提出することを全会一致で決定した。

地方財政は社会保障関係費等の財源需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況であり、住民サービスやまちづくりを安定的に行うために、地方税財源を充実確保するよう、関係省庁へ意見書を提出することを全会一致で決定した。

# 常任委員会報告

付託案件	審議結果
長崎県病院企業団規約の変更についてほか2件	原案可決
雲仙市国見神代小路歴史文化公園の鍋島邸の管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
平成25年度一般会計補正予算（第4号）案	原案可決
平成24年度一般会計歳入歳出決算認定についてほか4件	認定

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決5件、認定5件と決定しました。主な案件の質疑内容は次のとおりです。

雲仙市国見神代小路歴史文化公園の鍋島邸の管理に関する条例の一部を改正する条例について

新たに建物の内部を公開することに伴い、使用料の一部を変更しようとするもの。

**意見** 平成26年4月1日から新料金への移行がスムーズに行くよう、周知を徹底してほしい。

身体障害者の入場料も100円から130円に引き上げられるため、車椅子等の方にも極力配慮した優しいつくりとなるよう研究してほしい。

損害賠償の額の決定及び和解について

みずほ温泉千年の湯において、脱衣所のロッカーが倒れ利用者の方が打撲したものを。

**質疑** ロッカーのメーカーに対する責任は問わないのか。

**答弁** 設置者である市がロッカーの転倒防止策をとっていないことが原因であるため、メーカー側に責任を問う考えはない。

**質疑** 事故が発生した3月から議案の上程まで5カ月を経過し

た理由は。

**答弁** 被害者が転院治療を考えているとの意向であったため、治療の経過を見守っていたが、6月下旬に被害者と面談した際に、転院は行わず4月に治療は終了したことを確認し、その後書類作成等の手続きに入ったため時間を要した。

工事請負契約の変更について

重要文化財旧鍋島家住宅長屋門ほか4棟保存修理工事の変更契約を締結しようとするもの。

**質疑** 度重なる契約変更の理由は。

**答弁** 工事を進める中で当初想定できない部分が出てくるため、修理の方針を再度検討し、文化庁の指導に基づき変更している。

平成24年度一般会計歳入歳出決算認定について

主なものとして、通常保育事業、健康診査事業、県央県南広域環境組合負担金、安全・安心な学校づくり交付金事業など。



委員会の審査状況

**質疑** 健康チャレンジ事業は特定健診及びがん検診等の受診率向上が第一の目的とのことであるが、事業の効果は。

**答弁** 初年度ということもあり、大幅な受診率向上にはつながっていないが、市民の健康づくりのきっかけとして、少なくとも3年は継続し、受診率向上につながるよう努力したい。

**意見** 瑞穂すこやかランドをはじめとした市の全施設について、運営状況や老朽化の問題など検証する必要があると考え

る。来年度開催の「がんばらば



みずほ温泉千年の湯

国体」について、看板等の設置が少ないと思われるため、市内の機運を高めるためにも設置をお願いしたい。

公立公民館等の見直しについて、他の部署とも連携を図りながら、市全体としての方針を決定してほしい。

平成24年度温泉浴場事業特別会計歳入歳出決算認定について

**質疑** 入場者の増加の理由は。

**答弁** 平成23年度は施設改修のため43日間閉館しており、平成24年度は営業時間の延長及び施設のリニューアルによる効果があったと捉えている。

## 文教厚生



付 託 案 件	審議結果
平成25年度一般会計補正予算（第4号）案 ほか3件	原案可決
平成24年度一般会計歳入歳出決算認定 ほか4件	認 定
森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択に関する陳情について	採 択

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決4件、認定5件、採択1件と決定しました。主な意見は次のとおりです。

## 平成25年度一般会計補正予算（第4号）案について

市で行っている通常の除草作業は、設計単価が非常に安く、入札に指名されても、辞退する業者もいると聞く。

担当部署による積算単価の相違が原因ではないかと思われる。

適正な単価で積算してもらいたい。

## 平成24年度一般会計歳入歳出決算認定について

アンテナショップ運営事業には毎年度多額の予算が費やされている。費用対効果などを踏まえて再検討することを求める。

ほかの補助団体にはない80%を超える高い補助率のうえ、毎年度1,300万円以上の経費を要している雲仙市観光協議会の今後については、ほかの団体に引き継いでもらうことも踏まえて見直しを求める。

雇用の観点からも、煮干し加工場新設への支援の考えとして、キラリと光る雲仙産地支援事業における補助の嵩上げや、県への陳情・相談などを考えて

# 産業建設

もらいたい。

市型浄化槽にはグリース阻集器などが設置されているが、個人の浄化槽には設置されていない。同じ浄化槽でありながら、維持管理面で矛盾が感じられる。同じ市内において、公平性を欠くようなことがないようにしてもらいたい。

**反対討論** 市道吾妻平木場線道路公園整備工事について、現地を調査したところ、費用対効果や施設全体の利用計画を考えると、無駄使いと思われる利用者も少ないことが懸念されるため、反対する。

採決の結果、賛成多数により認定すべきものと決定した。

## 森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択に関する陳情について

趣旨に賛同できるとして、全会一致で採択し、意見書を提出することを決定した。

## ホテル・旅館等建築物の耐震化の促進に関する意見書の提出について

趣旨に賛同できるとして、意見書を提出することを決定した。

今回の議案に関連する事業などについて、24箇所の現地調査を実施した。

市道改良工事において、一部狭小箇所が見受けられた。今後は、担当部署と連携を図り、用地取得に努め早期完成をお願いしたい。

市道吾妻平木場線道路公園整備工事については、現地を調査した結果、今後は必要最小限度の仕上がりとしてもらいたい。

そのほかの決算関係の現地については、執行部の日常業務の努力により、しっかりとした対応がなされていた。

今年度取り組まれる業務についても引き続き努力方をお願いする。



有害鳥獣被害防止対策（千々石）



市道吾妻平木場線道路公園整備工事（吾妻）



# 市政を問う

## 9名の議員が一般質問

平野 利和…P13  
町田 誠…P14  
坂本 弘樹…P14

上田 篤…P15  
柴田 安宣…P15  
林田 哲幸…P16

小田 孝明…P16  
浦川 康二…P17  
福田 大東…P17



一般質問は、質問者自身が議事録をもとに原稿を作成しています。

## 市職員の資質向上を！



ひらの 利和 議員

雲仙市職員の資質は

平野議員

市民より「市役

所には行きたくない。どこに行けば良いかわからず、あいさつもしてくれず冷たい感じがする」との意見を聞くが、どの様に考えるか。

金澤市長

職員に3つの

メッセージを出している。  
1. 何とか市民の皆様のお役に立とうと思つて、地域の皆様の顔を思い浮かべて仕事をしてもらいたい。

2. 良い事をしようじゃなく良い存在であろうと思つてもらいたい。

3. 大きな努力で小さな成果ということを習い性にしてもらいたい。と言っている。

意識改革は日ごろの積み重

ねが必要であり、職員は全体の奉仕者であり、行政サービスの担い手である意思を持って業務にあたってもらいたい。

平野議員

6月議会で、職

員の怠慢による指導をお願いしていた。公務員とは、国民全体に奉仕すること。議員も同じだ。公僕である。公衆に奉仕する者である。どのよう

境川副市長

一人一人が変

わっていかねばならずそれを踏まえて具体的に指導していく。

他の質問

- ・高齢者健康促進は
- ・観光協会の役割は



## 健康管理啓発対策は



まちだ まこと 町田 誠議員

**子宮頸がん予防に対するワクチン接種に伴う健康管理は**

**町田議員** 子宮頸がん予防に対するワクチン接種に伴う健康管理で、リスクと効果をどのように考えるか。厚生省の発表では、国内で毎年約1万5千人が発病し陽性と診断され、その中で約3千5百人が毎年亡くなっている。並行してワクチン接種の副作用も問題となっている。予防と対策、並びに啓蒙をどう考えるか。

**金澤市長** 本年6月14日に厚生省からワクチンとの因果関係を否定できない持続的な痛みがワクチン接種後に特異的に見られたことから、副反

応の発生頻度等がより明らかになり、適切な情報提供ができるまでの間、定期接種を積極的に勧奨すべきではないという勧告が出された。

**結核感染と予防対策は**

**町田議員** 健康づくり課より広報うんぜん9月号に「忘れていませんか結核」というタイトルで載っていた。結核予防法が昭和26年に制定されてから数十年が経過し、結核対策を取りまく状況は大きく変化した。高齢者の発病の方で、以前に感染を受け安定した病巣の中で増殖を止めていた結核菌が何らかの理由で三たび増殖を始めて発病する。病原体の撲滅について市の対応を聞きたい。

**広瀬市民生活部長** 検診やBCG接種などにより、結核患者は減少している。予防対策としては、早期発見、早期治療が最善であり、検診率を上げていく。

## 河川護岸老朽化対策は



さかもと ひろき 坂本 弘樹議員

**坂本議員** 河川護岸整備から50年以上経過し老朽化しているが、管理・整備の考えは。

**金澤市長** 市内138の河川があり、整備から50年以上経過し基礎部の洗掘や護岸の緩み等が多く見られる。洪水等の想定外の災害も考えられることから適切な管理に努める。

**野口建設整備部長** 老朽箇所

の把握が出来ていない。地元自治会や関係者からの情報提供を受け調査し緊急性等考慮し随時維持管理をしている。  
**坂本議員** 市からの調査は実施しないのか。

**野口部長** 市管理の河川延長が14万8千mであり現時点では、地元からの情報により迅速に対応すべきと考える。

**公園管理委託料は**

**坂本議員** 市内50箇所以上の公園があり、管理を業者に委託してある。委託料の計算基礎は。

**畑中総務部長** 多くの公園がシルバー人材センターに、そのほかに地域自治会及び組合に委託している。委託料は過去の実績を基に工種ごとに積算する。積算根拠は除草・害虫防除・剪定面積及び本数・トイレ清掃や遊具保守点検・機械借上げ等積算し委託料を決定している。



# 中卒まで医療費無料に



う えだ あつし  
上田 篤 議員

## 市民の交通安全に責任を

**上田議員** 市民アンケートに、歩道の整備、信号機の設置などの要求が多数寄せられた。市はどう対処するのか。

## 広瀬市民生活部長

交通事故は多数にのぼり、死亡事故も多い。信号機については、各種団体からの要望書は警察署へ出され、そこで検討して県警本部へ上申する。そこで再度検討され、決定されたら予算がつく。おおよそ年に20〜30件設置される。

## 上田議員

自治会長を通じて要望をあげるとは大事だと思つ。市としても積極的に調査することが必要ではないか。

## 広瀬部長

市は申請のアド

バイスとか現場検証時に必要性を説明している。

## 市長の決断で中学校卒業まで医療費を無料に

## 上田議員

中学校卒業までの医療費無料化について市は研究・調査したか。

## 本多市民福祉部長

市の福祉医療は県の福祉医療の補助要綱に基づいて実施している。

医療費の無料化を小学校6年生まで拡大した場合、入院・通院で20006万円、入院のみが5444万円、中学3年生まで拡大した場合、入院・通院で2700万円、入院のみで732万円かかる。

## 上田議員

全国各地でとり組まれているのは、必要性があるからだ。長崎県では南島原市と松浦市だけが、全国では1742市町村で中学校卒業までの通院無料は829(47%)。入院は1086(62%)となつている。2700万円は市の予算からすれば0.1%以下だ。

# 雲仙市は希望持てる街



しばた やすのぶ  
柴田 安宣 議員

## 雲仙市の人口対策は

**柴田議員** 定住化促進のため、職場の確保は必然である。

愛野町は農地の白地が多く、土地が安く、造成工事をしても液状化が起きない。千々石の水等を考え、インター直近である愛野町に工業団地造成で企業誘致を実現すると、人口増・定住化対策にもなると思つが。

## 金澤市長

愛野地域は定住及び移住促進が見込める地域であり、今後優良農地と兼ね合いを取りながら、実現に向け取り組みを強化していく。

## 農振農用地の考え方 都市計画法の取り組みは

## 柴田議員

都市計画法で愛野地域を囲い込むと、移住人

口の減少に繋がり、都市計画は変更が見込めない。がちがちの都市計画でなく、大村方式の白地が多い計画の検討を。

## 金澤市長

基盤整備推進委員会を中心に区域の決定、非農用地創設も視野に計画提案する。都市計画の指定は新たな規制が伴うので慎重に研究したい。

## 庁舎建設と総合支所は

## 柴田議員

合併時、条例で制定した愛野本庁舎（現在の愛野町公民館）の場所に、公民館と総合支所併設案が出ているが、NHKのご自慢が行える規模はどのなのか。愛野総合支所と現公民館を加算すると、実現できると思つが。

## 近藤政策企画課長

現施設を基本としながらも、市の中心であり市民が集まりやすい立地等も考慮し、交流拠点として整備する。

## その他の質問

・総合支所長の権限について



# どうなる総合支所庁舎



はやしだ 林田 哲幸 議員

## 庁舎整備計画

**林田議員** 国見総合支所についてこれまでの計画では、国見農村環境改善センターに支所機能を移設するとされていたが、ここにきてなぜ新築案に変更されたのか。

**金澤市長** 市議会や自治会長会議、地域審議会等でご意見・ご要望をいただき、改めて整備費用も含めて総合的に検討を行った結果、支所機能の施設を新築することで再提案させていただいた。

**近藤政策企画課長** 農村環境改善センターに移設する場合は、内部改修及び一部増築で、合計7800万円と見込んでおり、更に建築基準法の現行基準に適合するように改

修を行うためには耐震補強などの改修費が必要になる。一方、350㎡程度の庁舎を新築する場合は、概算で8千万円を見込んでいる。

**林田議員** 6つの総合支所の中で、国見支所だけが単独で新築ということになった場合、市民の理解を得られるのか。

**近藤課長** 幅広く市民の意見を聞きながら今年度中に整備計画を策定したい。

**林田議員** 私は基本的に庁舎にお金をかけないでほしいと思っている。多くの市民が納得する形で庁舎整備計画を進めてもらいたい。

## 税の収納対策

**林田議員** ファイナンシャルプランナーによる納税相談で、自主的で安定的な納税に繋げる指導はできないか。

**広瀬市民生活部長** 早い時期に導入ができるように調査・研究をしている。

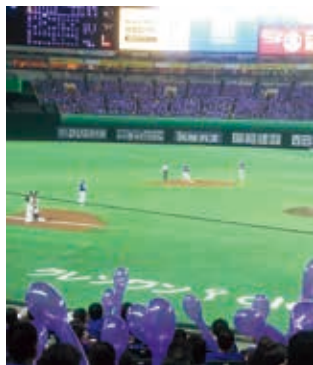
# ホークス球場誘致を



おだ 小田 孝明 議員

**小田議員** 市長が福岡ソフトバンク球団の2・3軍の本拠地球場施設等の国体馬術会場跡地への誘致を名乗り出たのは英断である。誘致推進体制は。

**金澤市長** 距離的に厳しいが、広大な敷地と市の環境をPRし推進したい。県・地元企業・事業所・市民を挙げて歓迎し、応援する体制を整備する必要がある。



## 農業への就職対策

**小田議員** 平成24年度から始まった青年就農給付金（経営開始型）の現状は。

**酒井農林水産商工部長** 平成24年度25人、平成25年度26人、合計51人である。

**小田議員** 新規就農者51人は貴重である。この事業の周知・指導を強化し、就農者確保に活用することが大切である。

## 投票率が低下

**小田議員** 選挙では投票率が命である。市内41ヶ所の投票所が28ヶ所となつてから、国政（衆・参）選挙の投票率は下がっている。

**山本選挙管理委員長** 平成25年、国の選挙執行経費の改正がある前から投票所の見直しを進めて28ヶ所に決定した。1、2年の結果をみて見直しの必要があるかないかを協議したい。

## その他の質問事項

- ・馬術会場の進捗状況
- ・国体のリハーサル大会
- ・新規就農支援事業
- ・スキルアップ支援事業
- ・平成25年度長崎県への施策に関する要望・提案について



# 雲仙市活性化策の提案



うらかわ やすじ  
**浦川 康二** 議員

## 埋立地の施設整備促進

**浦川議員** 牛口埋立地は、宅地以外の施設の整備は未着手であり、町下埋立地は、本年度で埋立を完了するが、農海産物直売所や多目的施設等の整備工程が明示されていない。用途計画に基づき整備予定は。

**金澤市長** 2つの埋立地は、市民の意見を十分反映させた計画になるよう、様々な角度から見直しを行ない、市において最善の活用策を研究する。

**浦川議員** 町下埋立地は、用途計画に基づく農海産物直売所、多目的市広場や芝生広場等を整備することで堤防道路と相まって、地域経済の活性化が期待できる。

## 工業団地造成計画は

**浦川議員** 若者等の人口減少を抑制する打開策として、工場の誘致による雇用創出が必要であると思うが、新たな工業団地の造成計画は。

**酒井農林水産商工部長** 現在市内の造成済み工業団地用地は少なく、候補地として数箇所を検討している。

**浦川議員** 町下埋立地から牛口埋立地間の干陸地は広大な工業団地用地として適地と判断し、埋立事業を提案する。  
**金澤市長** 提案の干陸地の一体的な整備は、今後雲仙市の企業誘致の可能性を検討していく中で参考とする。



町下公有水面埋立地

# 耐震改修促進法の対策



ふくだ だいたう  
**福田 大東** 議員

## 雲仙市観光の現状は

**福田議員** アベノミクス効果で大手企業では好決算が発表されているが、その効果は雲仙市観光にどのように反映されているか。

**金澤市長** 今は観光産業にとって経営安定に向けた重要な時期となっている。市は観光産業の安定化に寄与するため、大手旅行業者、公共交通機関、観光関係機関と協議・連携を深め、観光振興策を研究してゆく。

## 改正耐震改修促進法への対策は

**福田議員** 全国の温泉地、観光、旅館、ホテルを揺るが

す「改正耐震改修促進法」が国会で可決されたが、その詳細は。

**野口建設整備部長** 昭和56年5月以前に建設された5000㎡以上で不特定多数が利用する施設については耐震診断を行い、診断結果を平成27年12月31日までに県に報告し、県は公表するよう改正。

**福田議員** 改正耐震改修促進法に対する対策として、  
1、対策本部の設置、2、全国温泉地市長会との連携、3、長崎県への陳情、4、地元国会議員への陳情、以上4項目を提言する。

**金澤市長** 貴重な提言として今後十分参考にしたい。  
**福田議員** 市長が抱く観光の未来像は。

**金澤市長** 極めて困難な問題だが、観光施策を検証し整理して、次の段階に進みたい。小浜を含めた雲仙を復活させたいと中期するものがある。

# 市民の声

市民の皆様から「議会だより」にいただいたご意見やご感想をご紹介します。（文章は抜粋を掲載しています）



（小浜町・西原清博さん）

● 看護と老人費用の方が使う方が多いと思いますが、地方の特色を生かし、企業への期待感をと想っており、活発な皆様方の議論、世に効あるものと受け止めております。

## 問2 議会への意見や質問

● 地方自治の主体性と客観性がわかり、やはり地産物その他経済の基本の上になりたつものと受け止めていきます。

## 問1 「議会だより」を読まれるの感想やお気づきの点

これからも市民の皆様の声をお待ちしています。

（吾妻町・井川廣さん）

● 議会を国会と同じく9時から始めてもらいたいのです。国会は9時から12時まで休みなすです。市議会は10時に始まって11時には休みです。9時から始まれば、必ず傍聴者も多くなります。

## 問2 議会への意見や質問

● 諫早湾干拓事業の総事業費は2533億円余りかかったという。平成7年に完成し、営農開始が平成8年4月頃と聞いている。今頃になって何でまた開門なのでしょう。私たちが農民はたまつたものではありません。

## 問1 「議会だより」を読まれるの感想やお気づきの点

## 長崎県市議会議長会研修

8月23日に西海市で長崎県市議会議長会議員研修会が行われ、雲仙市議会から10人が出席しました。

大島造船所副社長が、会社の成り立ち等の概要や経営方針、工場設備等について講演されました。経営方針の中で地域を支える地場企業としての使命を感じましたし、地元優先の雇用を行っている事のたのしみを感じ、雲仙市においても、地場産業の振興を促進すべきと感じた講演でした。



# 議会用語解説

## 議員とは

国会及び地方公共団体の議会の構成員のこと。

国会の場合には、衆議院と参議院とがあり、それぞれ、衆議院議員、参議院議員と呼称される。なお、衆議院議員は、「代議士」と通称されている。

地方公共団体の議会としては、都道府県の議事機関として都道府県議会が、市町村の議事機関として、市町村議会が設置されている。それぞれ、都道府県議会議員、市町村議会議員と呼称される。なお、県会議員、市会議員、町会議員、村会議員などと俗称される。

以上の議員は、いずれも公選によらなければならないとされ、国民を代表し、地方公共団体の住民を代表する地位にある。これらの議員の選挙は、公職選挙法の定めるところにより実施される。

任期は、参議院議員が6年、それ以外の議員はすべて4年とされている。なお、被選挙権については、参議院議員が30歳以上、それ以外の議員はすべて25歳以上とされている。都道府県及び市町村の議員については、年齢のほか、住所要件が課されている。

以上のほか、都の特別区、一部事務組合、広域連合等の組合、財産区にも議会が置かれ、議員がいる。特別区には市に関する規定が適用され、一部事務組合については、組合の規約で議会の組織及び議員の選挙の方法を定めることとされ、広域連合についても、規約で議会の組織及び議員の選挙の方法を定めることとされている。財産区については、知事が、当該市町村又は特別区の議会の議決を経て設定し、その中で、議員の定数、任期、選挙権、被選挙権等を定めることとされている。

問1 「議会だより」を読まれての感想や、お気づきの点などあればお書きください。

---

---

---

---

---

問2 議会への意見や質問などお寄せください。

---

---

---

---

---

ご協力ありがとうございました。

議会へのご意見・ご感想をお寄せください！



雲仙市議会では、市民の皆様から広くご意見を伺うため、前回から議会だよりに返信用ハガキを掲載しています。

議会だよりを読まれての感想や議会に対するご意見等をご記入の上、ご送付ください。(お手数ですが、50円切手をお貼りください)

いただいたご意見等は、議会だよりに掲載する場合がありますので、ご了承ください。



